

家庭学習だより



木津川市立加茂小学校 令和3年6月25日発行 第2号 学力充実部

家庭学習 P-up(パワーアップ)週間が終わって1カ月が経ちました。子ども達の家庭学習の様子はいかがでしょうか。各学年、学習もだんだんとまとめの時期に入ってきます。学期末テストでは、4月に学習した内容からも出題されます。もう忘れてしまっていることも十分に考えられます。宿題に5分プラスして、教科書を読み直すとテスト前の準備が楽になります。さらに問題を解き直したり、まとめられたりすると学習内容の定着につながります。

今後も「学びの習慣」がつけられるように支援を行っていきたいと思います。また、各ご家庭においてそれぞれ温かいサポートを引き続きよろしく願いいたします。今号では6年生の家庭学習の様子を紹介いたします。

理科まとめテスト勉強

① た液によるでんぷんの変化

- 食べ物は口の中でかみくだかれた後た液と混ざる。
- た液によつてでんぷんはあまり感じる別のものに変化する。
- 食べ物をかみくだいたり、体に吸収されやすいものに変えたりするはたらくを消化といいます。消化にかかわるた液のような液体を消化液といいます。

② 食べ物の通り道や変化

- 口から入った食べ物は食道胃小腸大腸を通り、残ったものが便として肛門から出る。口から肛門までの食べ物の通り道を消化管という。
- 口で消化された食べ物は、胃や小腸でさらに消化され吸収されます。

縄文時代と弥生時代について

青森県の三内丸山遺跡(縄文時代)
今から約1万2000年前から約1万年間続いた。
武器は見つからないので戦いはなく、自然に合わせてくらしていた。
服はがらがなく、動物の皮などを着ていた。
動物の骨や石で道具がつくられていた。

食べ物をにたきしたりたくわえたりするための土器をつくりはじめた。この土器は縄を転がしてつくった物が多いので縄文土器という。

食料は、動物や魚、木の実を食べていた。
この時代を縄文時代という。

めあて 分数×整数 分数÷整数

① $\frac{6}{11} \div 3 = \frac{2}{11}$
② $\frac{2}{3} \div 2 = \frac{1}{3}$
③ $\frac{3}{5} \div 4 = \frac{3}{20}$
④ $\frac{5}{7} \div 10 = \frac{1}{14}$
⑤ $\frac{9}{4} \div 6 = \frac{3}{8}$

⑥ 2 dl で $\frac{3}{4}$ が n 個入る 1 l には何個入りますか。
⑦ $\frac{4}{5} \div 2$ は、 $\frac{1}{5}$ が $(4 \div 2)$ 個分

この図も大事にね! 見直さないと、それ以外も大事にね! 小さいときは、必ず付くからね!

説明がほしい。下-分力がつて2-3 証=!!

3.5

「ちりも積もれば山となる」

ここがいいね!

リカさんと

みさきさんとありさんは公園で遊ぶ約束をしました。それぞれの家から公園までの道のりとかかった時間は

みさきさん 270m を12分、リカさん 510m を20分、ありさんが405m を15分でした。(ただし、歩く速さは一定とします)

みさきさんの歩速は何m分秒か?
 $270 \div 12 = 22.5$
分速 22.5m

リカさんの歩速は何m分秒か?
 $510 \div 20 = 25.5$
分速 25.5m

三人の3歩のペースで歩いた場合、ありさんは何分歩きますか?
ありさん
 $22.5 \times 30 = 675$

みさきさんの家から学校まで630mあります。何分かかりますか。
 $630 \div 22.5 = 28$ 28分

みさきさんの時速は何km分秒か?
 $22.5 \times 60 = 1350$
時速 1.35km

ありさんの秒速は何cm分秒か?
 $27 \cdot 60 = 1620$
1620

リカさんが30分歩き続けると何m歩きますか?
 $510 \div 20 = 25.5$
 $25.5 \times 30 = 765$
765m

お家の人も手伝ってもらって学習したいね! 子供部屋に...

家庭学習の意味 学習を実りあるものに

家庭学習が習慣化できると、中学校以降の学びにも大きな影響を与えていきます。定期テストをスムーズに迎えられることはもちろんですが、知りたいと思ったことや興味を持ったことについて追求探求しようとする力が育まれていきます。生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会、「生涯学習社会」を目指すにあたって非常に大事な力になります。6年生の時の学習の姿をイメージしながら、学びの習慣化を目指し、積み重ねていきましょう。

まだまだ、一人ではできないことがたくさんあります。「宿題やりなさい。」「もう宿題はした?」だけでは、動かない子が多いのではないのでしょうか。保護者の皆さんも、時には一緒に学んだり、一緒になって悩んだりしていただけたらと思います。子どもにとって、一番身近なよき理解者であり、一番身近なよきモデルを目指していきましょう。